



**コンサルタント  
(研修ロードマップ)**

**2009. 3**

**独立行政法人情報処理推進機構**

**IT 人材育成本部 IT スキル標準センター**

**経済産業省**

# 目次

1. 研修コース群(体系図)	2頁
2. 研修コース一覧	3頁
3. 研修コースの内容	5頁

## コンサルタントの研修コース群(体系図)\*

	未経験レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7			
テクノロジー				最新技術動向		コミュニティ活動					
メソドロジー				コンサルティング基礎	コンサルティングメソドロジー中級				コンサルティングメソドロジー上級		
				コンサルティングメソドロジー基礎							
				コンサルティングメソドロジー基本							
ビジネス/インダストリ				ビジネスモデル基礎	最新ビジネス動向						
				インダストリ業務基礎	インダストリアプリケーション動向						
プロジェクトマネジメント				プロジェクトマネジメント基礎							
パーソナル				コンサルタントのリーダーシップ							
				コンサルタントのコミュニケーション							
				コンサルタントのネゴシエーション							

 :職種共通

 :専門分野選択

(\*) 体系図は2専門分野共通です

## コンサルタント(ビジネスファンクション)の研修コース一覧

コース群の種類	コース群	コース名	研修方法			期間		頁	
			eラーニング	講義	ワーク ショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
職種共通	基礎講座	コンサルティング基礎	○	○	○	30	4	6	
		ビジネスモデル基礎	○	○	○	24	3	10	
		インダストリ業務基礎	○	○		12	2	13	
		プロジェクトマネジメント基礎	○	○		24	3	16	
		コンサルティングメソドロジ基礎	○	○	○	12	2	19	
	上級講座	コンサルティングメソドロジ基本	環境調査・分析と経営課題の整理	○	○	○	12	3	23
			課題分析とソリューションの作成	○	○	○	12	3	25
			ビジネスモデル、プロセスの分析評価	○	○	○	12	3	27
		コンサルタントのリーダーシップ			○		3	29	
		コンサルタントのコミュニケーション			○		3	32	
		コンサルタントのネゴシエーション			○		3	35	
	特別講座	インダストリアプリケーション動向	インダストリアプリケーション動向	○	○		12	2	38
		最新ビジネス動向	最新ビジネス動向	○	○		6	1	41
		最新技術動向	最新技術動向		○			1	44
		コミュニティ活動	コミュニティ活動	—	—	—	—	—	47
	専門分野別選択	上級講座	エンタープライズ・アーキテクチャ	○	○	○	18	4	51
コンサルティングメソドロジ中級									
ITガバナンス・ITマネジメント			○	○	○	18	3	54	
	コンサルティングメソドロジ上級	アセットマネジメント	○	○	○	18	5	57	

## コンサルタント(インダストリ)の研修コース一覧

コース群の種類	コース群	コース名	研修方法			期間		頁	
			eラーニング	講義	ワーク ショップ	eラーニング (標準時間)	クラス (標準日数)		
職種共通	基礎講座	コンサルティング基礎	○	○	○	30	4	6	
		ビジネスモデル基礎	○	○	○	24	3	10	
		インダストリ業務基礎	○	○		12	2	13	
		プロジェクトマネジメント基礎	○	○		24	3	16	
		コンサルティングメソドロジ基礎	○	○	○	12	2	19	
	上級講座	コンサルティングメソドロジ基本	環境調査・分析と経営課題の整理	○	○	○	12	3	23
			課題分析ソリューション作成	○	○	○	12	3	25
			ビジネスモデル、プロセスの分析評価	○	○	○	12	3	27
		コンサルタントのリーダーシップ			○		3	29	
		コンサルタントのコミュニケーション			○		3	32	
		コンサルタントのネゴシエーション			○		3	35	
	特別講座	インダストリアプリケーション動向	インダストリアプリケーション動向	○	○		12	2	38
		最新ビジネス動向	最新ビジネス動向	○	○		6	1	41
		最新技術動向	最新技術動向		○			1	44
		コミュニティ活動	コミュニティ活動	—	—	—	—	—	47
	専門分野別選択	上級講座	インダストリ別スペシャリティ(金融)	○	○	○	18	3	60
インダストリ別スペシャリティ(産業)			○	○	○	18	3	63	
インダストリ別スペシャリティ(公共)			○	○	○	18	3	66	

コンサルタント  
研修コースの内容  
＜職種共通＞

## コンサルティング基礎（1コース）

- コンサルティング基礎

コース名 研修コースの内容	コンサルティング基礎
講座分類	□入門講座 ■基礎講座 □上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □ビジネスファンクション □インダストリ
コース概要	<p>当コースは、基礎的なコンサルティング技法、知的資産の管理と活用の方法、ビジネス/インダストリに係わるコンサルティング全般に関する基礎的な知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、ビジネス上の課題を解決するための仮説設定、データ収集と分析、解決策の検討と策定、報告書作成、プレゼンテーションなどのコンサルティング概要を学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識、およびリーダーシップ、コミュニケーション、ネゴシエーションなど基本的なパーソナルスキルを有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 30時間 (eラーニング 1日 6時間×5日)、後半:標準日数 4日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	コンサルティングに関する基礎的な知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、効果的なコンサルティングプロジェクトを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
コンサルティングメソドロジの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－コンサルティングメソドロジの選択と活用</li> <li>コンサルティングメソドロジの比較と分析,コンサルティングメソドロジの選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用</li> </ul>
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－顧客・市場・業界に関する情報収集</li> <li>－関連する法規制・外部成約の情報収集</li> <li>－業界内での位置づけの把握</li> <li>－公開情報の収集</li> <li>－ベンチマーク調査</li> <li>－経営層と組織運営体制</li> <li>－経営指標に関する情報収集</li> <li>－経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－経営計画に関する意見交換</li> <li>－業務プロセスの調査</li> <li>－業務責任者との意見交換</li> <li>－事業環境上の課題の整理</li> <li>－経営計画関連情報の要約</li> <li>－課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－トップマネジメント視点での課題の抽出</li> <li>－ビジネスモデルの分析</li> <li>－ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>

対象スキル項目	関連する知識
解決の方向性の提言 (TO-BE 提言)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－課題の分析</li> <li>－影響範囲分析</li> <li>－優先順位の仮説設定</li> <li>－解決の方向性の導出</li> <li>－解決の方向性の検証</li> <li>－概算の投資対効果の見積もり</li> <li>－戦略展開計画の立案</li> </ul>
「経営における IT」の知見からの課題発見 (知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－IT マネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務の IT 活用動向</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>－2Wayコミュニケーション 対話およびインタビューの実施、意思疎通、コミュニケーション手法の活用と実践、効果的な話し方・聞き方の実践</li> <li>－情報伝達 プレゼンテーション技術の活用と実践、公式または非公式文書の作成、文書表現および表現力の活用と実践、メディア選択、説得技法の活用と実践</li> <li>－情報の整理・分析・検索 状況対応能力の育成と実践、状況理解力の活用と実践、ミーティング運営技術の活用と実践</li> </ul>
ネゴシエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ネゴシエーション 交渉プロセスの把握と実践、効果的な交渉技法の活用と実践、信頼関係の確立、目標の設定、共通利益、論理的思考の実践、問題解決手法の活用と実践</li> </ul>

## ビジネスモデル基礎 (1コース)

- ビジネスモデル基礎

コース名	ビジネスモデル基礎
研修コースの内容	
講座分類	□入門講座 ■基礎講座 □上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □ビジネスファンクション □インダストリ
コース概要	当コースは、コンサルティングの対象となる顧客ビジネスについての基本的なビジネスモデル及びプロセスについてのモデリングを行うための基本的知識、スキルの修得を目的とする。
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識を保有していること。会計基礎、企業業務基礎等の受講をしていることが望ましい。
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	標準時間 24時間 (eラーニング:1日 6時間×4日)、標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	ビジネスモデルについての基礎的な知識を活用し、コンサルティングチームのメンバーとして、顧客とのコミュニケーション必要なビジネス案件に参加できる。

対象スキル項目	関連する知識
コンサルティングメソドロジの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－コンサルティングメソドロジの選択と活用</li> <li>    コンサルティングメソドロジの比較と分析,コンサルティングメソドロジの選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用</li> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用</li> <li>    事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7S モデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> </ul>
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>    知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ビジネスモデルの分析</li> <li>－ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>

## インダストリ業務基礎 (1コース)

- インダストリ業務基礎

コース名	インダストリ業務の基礎
研修コースの内容	
講座分類	□入門講座 ■基礎講座 □上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □ビジネスファンクション □インダストリ
コース概要	<p>当コースは、現在のインダストリや業務に関する知識、そして現在使用されている、または今後使用されると考えられるアプリケーションに関する基礎的な知識の修得を目的としている。</p> <p>○ 当コースでは、各インダストリの代表的な業務およびそれらの業務中で使用されるアプリケーションの種類などを学習する。基礎知識の修得に主眼をおくが、各インダストリ固有の業務知識などについて概要及び各インダストリ業務の比較を行い、それらの特徴を習得する。受講者は当コースにおいて基礎知識を学習した上で、さらに個別の業務に関する専門性の高い知識を学習する必要がある。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識を保有していること。会計基礎、企業業務基礎等の受講をしていることが望ましい。
研修方法	eラーニング、講義、
期間	標準時間 12時間 (eラーニング 1日 6時間×2日間)、標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	インダストリ業務の基本的な知識を活用し、コンサルティングメンバーとして、プロジェクトに参画できる。

対象スキル項目	関連する知識
インダストリー知見の活用	<p>             ー各インダストリー固有なスペシャリティの知見              産業、金融、公共、サービス、業務、制度、全体構想、顧客マネジメント、サプライチェーンマネジメント、情報戦略、企業会計、経営工学、エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用、関連法規の理解と遵守、インダストリー共通アプリケーションに関する知識の活用、インダストリー固有アプリケーションに関する知識の活用、インダストリービジネス動向、技術動向、競争状況の把握、インダストリー用語、関連法規の把握と活用、インダストリー別事業環境の把握と活用、インダストリー別ビジネス慣行の把握と活用、インダストリー固有業務内容の把握と活用、業務別事業環境、社会環境の把握と活用、業務別関連法規制の把握と活用、業務別規制状況、慣習の把握と活用           </p>

## プロジェクトマネジメント基礎（1コース）

- プロジェクトマネジメント基礎

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	プロジェクトマネジメント基礎
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、プロジェクトマネジメントに関する基礎知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、「PMBOK」に準じて、プロジェクトの定義、組織化、計画策定、スケジュール策定、プロジェクト実施と管理、プロジェクト完了等、プロジェクトマネジメント全局面の知識領域について基礎的な内容を網羅しており、業種や分野別の特性にとらわれない汎用的なプロジェクトマネジメントの概念を学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	情報システムの開発に関する基礎的な知識を有し、プロジェクトに参加した経験を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	標準時間 24時間 (eラーニング 1日6時間×4日)、標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	プロジェクトマネジメントに関する基礎的な知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、効果的なプロジェクトマネジメントを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
プロジェクトマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>－プロジェクト統合マネジメント プロジェクト憲章作成、プロジェクト・スコープ記述書暫定版作成、プロジェクトマネジメント計画書作成、プロジェクト実行の指揮・マネジメント、プロジェクト作業の監視コントロール、統合変更管理、プロジェクト終結</li> <li>－プロジェクト・スコープ・マネジメント スコープ計画、スコープ定義、WBS作成、スコープ検証、スコープ・コントロール</li> <li>－プロジェクト・タイム・マネジメント アクティビティ定義、アクティビティ順序設定、アクティビティ資源見積り、アクティビティ所要期間見積り、スケジュール作成、スケジュール・コントロール</li> <li>－プロジェクト・コスト・マネジメント コスト見積り、コストの予算化、コスト・コントロール</li> <li>－プロジェクト品質マネジメント 品質計画、品質保証、品質管理</li> <li>－プロジェクト人的資源マネジメント 人的資源計画、プロジェクト・チーム編成、プロジェクト・チーム育成、プロジェクト・チームのマネジメント</li> <li>－プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント コミュニケーション計画、情報配布、実績報告、ステークホルダー・マネジメント</li> <li>－プロジェクト・リスク・マネジメント リスク・マネジメント計画、リスク識別、定性的リスク分析、定量的リスク分析、リスク対応計画、リスクの監視コントロール</li> <li>－プロジェクト調達マネジメント 購入・取得計画、契約計画、納入者回答依頼、納入者選定、契約管理、契約終結</li> </ul>

## コンサルティングメソドロジ基礎(1コース)

- コンサルティングメソドロジ基礎

コース名 研修コースの内容	コンサルティングメソドロジー基礎
講座分類	□入門講座 ■基礎講座 □上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □ビジネスファンクション □インダストリ
コース概要	<p>当コースは、コンサルティングの基本的な方法論、コンサルティングプロセス、そのプロセスで使われるテクニックを理解し、実践するための知識の修得を目的とする。</p> <p>○ コース前半では、コンサルティング技法を使った全体的なコンサルティングプロセスの流れ、データ収集、整理、分析方法、課題の抽出と分析方法、解決策の検討と策定の進め方、問題解決プロセスの論理的かつ効果的なレポートの作成とプレゼンテーション手法や折衝方法に関する知識をeラーニング形式で学習し、後半では、コンサルティングの方法論を活用したコンサルティングプロセスの適用方法とアーキテクチャのソリューション提供に関する事例の検討をワークショップ形式で学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
受講前提	「コンサルティング基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 12時間 (eラーニング:1日 6時間×2日)、後半:標準日数 2日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	コンサルティングメソドロジーに関する基礎的な知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、顧客に対して迅速かつ効果的な提言を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
コンサルティングメソドロジの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－コンサルティングメソドロジの選択と活用</li> <li>    コンサルティングメソドロジの比較と分析,コンサルティングメソドロジの選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用</li> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用</li> <li>    事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7S モデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> </ul>
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>    知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－顧客・市場・業界に関する情報収集</li> <li>－関連する法規制・外部成約の情報収集</li> <li>－業界内での位置づけの把握</li> <li>－公開情報の収集</li> <li>－ベンチマーク調査</li> </ul>

## コンサルティングメソドロジー基本(3コース)

- 環境調査・分析と経営課題の整理
- 課題分析とソリューションの作成
- ビジネスモデル、プロセスの分析評価

コース名 研修コースの内容	環境調査・分析と経営課題の整理
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □ビジネスファンクション □インダストリ
コース概要	当コースは、「コンサルティングメソッドロジ基礎」の後続コースとして、「コンサルティング基礎」で修得したコンサルティングの基礎的なアプローチとITに関するコンサルティングモデルを活用し、ビジネス環境の分析及び戦略立案に必要な課題整理について、情報収集、分析、整理に関する知識及び方法について修得を目的とする。
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、レベル4を目指す者
受講前提	「ビジネスモデル基礎」、「コンサルティングメソッドロジ基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	標準時間 12時間（eラーニング：1日 6時間×2日）、標準日数 3日（クラスルーム）
研修修了後の スキル修得目標	コンサルティングメソッドロジに関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、顧客の業務改革、将来ビジネスモデルの策定、実行計画立案の支援を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－顧客・市場・業界に関する情報収集</li> <li>－関連する法規制・外部成約の情報収集</li> <li>－業界内での位置づけの把握</li> <li>－公開情報の収集</li> <li>－ベンチマーク調査</li> <li>－経営層と組織運営体制</li> <li>－経営指標に関する情報収集</li> <li>－経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－経営計画に関する意見交換</li> <li>－業務プロセスの調査</li> <li>－業務責任者との意見交換</li> </ul>
「経営におけるIT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－ITマネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務のIT活用動向</li> </ul>
コンサルティングメソッドの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用</li> <li>事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> </ul>
ビジネスファンクションの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－インダストリーに共通した業務の知見</li> <li>会計、人事、設備管理など</li> </ul>

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	課題分析とソリューションの作成
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、「コンサルティングメソッドロジ基礎」の後続コースとして、「コンサルティング基礎」で修得したコンサルティングの基礎的なアプローチとITに関するコンサルティングモデルを活用し、ITに関連する課題解決のためのコンサルティングメソッドロジに関する知識及び方法について修得を目的とする。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、レベル4を目指す者
受講前提	「ビジネスモデル基礎」、「コンサルティングメソッドロジ基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	標準時間 12時間（eラーニング：1日 6時間×2日）、標準日数 3日（クラスルーム）
研修修了後のスキル修得目標	コンサルティングメソッドロジに関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、IT実施計画を策定し、ビジネスケースと移行計画の立案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－事業環境上の課題の整理</li> <li>－経営計画関連情報の要約</li> <li>－課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－トップマネジメント視点での課題の抽出</li> <li>－ビジネスモデルの分析</li> <li>－ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>
「経営におけるIT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－ITマネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務のIT活用動向</li> </ul>
コンサルティングメソッドロジの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用</li> <li>事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C分析、SWOT分析、7Sモデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> </ul>
インダストリの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－各インダストリ固有なスペシャリティの知見</li> <li>産業、金融、公共、サービス、業務、制度、全体構想、顧客マネジメント、サプライチェーンマネジメント</li> </ul>
ビジネスファンクションの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－インダストリに共通した業務の知見</li> <li>会計、人事、設備管理</li> </ul>

コース名 研修コースの内容	ビジネスモデル、プロセスの分析評価
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □ビジネスファンクション □インダストリ
コース概要	当コースは、「コンサルティングメソッドロジ基礎」の後続コースとして、「コンサルティング基礎」で修得したコンサルティングの基礎的なアプローチとITに関するコンサルティングモデルを活用し、ビジネスモデルの立案及びビジネスプロセスの分析、評価を行う実践的な知識及び方法について修得を目的とする。
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、レベル4を目指す者
受講前提	「ビジネスモデル基礎」、「コンサルティングメソッドロジ基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	標準時間 12時間（eラーニング：1日 6時間×2日）、標準日数 3日（クラスルーム）
研修修了後の スキル修得目標	ビジネスモデル、プロセス分析に関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、IT実施計画を策定し、ビジネスケースと移行計画の立案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ビジネスモデルの分析</li> <li>ビジネスモデルの分析、ビジネスモデルのリスクコントロールの評価、現行ビジネスプロセスの分析、把握、新ビジネスプロセスの分析、設計、ビジネスプロセス分析手法の活用と実践、ビジネス環境分析、ビジネス戦略(経営戦略、事業戦略)の把握、ビジネスモデル立案のためのフレームワークの検討、バリューチェーンの再構築、ビジネスモデルの構築</li> </ul>
コンサルティングメソッドの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用</li> <li>事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7S モデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> </ul>
「経営における IT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－IT マネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務の IT 活用動向</li> </ul>
インダストリーの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－各インダストリー固有なスペシャリティの知見</li> <li>産業、金融、公共、サービス、業務、制度、全体構想、顧客マネジメント、サプライチェーンマネジメント</li> </ul>
ビジネスファンクションの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－インダストリーに共通した業務の知見</li> <li>会計、人事、設備管理</li> </ul>

## コンサルタントのリーダーシップ

(1コース)

- コンサルタントのリーダーシップ

コース名 研修コースの内容	コンサルタントのリーダーシップ
講座分類	□入門講座 □基礎講座 ■上級講座 □特別講座
対象専門分野	■コンサルタント共通 □ビジネスファンクション □インダストリ
コース概要	<p>当コースは、あらゆるプロジェクトの成功要因である目標の設定、チーム形成、チーム内およびチーム外とのコミュニケーション、プロジェクト実施項目の作成と推進、管理、動機づけに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、中規模以上または複雑なプロジェクトを推進していく上で必要なリーダーシップ、自身に対する動機づけ、チーム形成を通じたチームメンバーに対する動機づけ、対人スキル、確執の管理と合意形成について、ロールプレイを取り入れてワークショップ形式で実践的に学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルティングチームのリーダーとして、複数のプロジェクトを遂行した経験を持つ者(コンサルタントのレベル4、5を目指す者)
受講前提	リーダーシップに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	リーダーシップに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、リーダーシップを発揮し、効果的なコンサルテーションを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
リーダーシップ	ーリーダーシップ リーダーシップの基本や原則の把握と実践、チームワークとコミュニケーションの実践、プロジェクト目標の設定、プロジェクトの推進、プロジェクトの実行、プロジェクト管理、プロジェクトチームメンバーの連携、プロジェクトチームメンバーの動機付けと達成感の提供、プロフェッショナルリティ、マインドセット、顧客志向、プロフェッショナル意識等、実際の業務を行う上で、保持している知識、能力を最大限に活用するような行動・思考様式

## コンサルタントのコミュニケーション

(1コース)

- コンサルタントのコミュニケーション

コース名 研修コースの内容	コンサルタントのコミュニケーション
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、あらゆるプロジェクトの成功要因であるプロジェクトの関係者との効果的かつ効率的なコミュニケーションに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、中規模以上または複雑なプロジェクトを推進していく上で必要な2Wayコミュニケーション、情報の伝達、情報の処理について、ロールプレイを取り入れてワークショップ形式実践的に学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルティングチームのリーダーとして、複数のプロジェクトを遂行した経験を持つ者(コンサルタントのレベル4、5を目指す者)
受講前提	コミュニケーションに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	コミュニケーションに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、顧客責任者との意思疎通を図ることができる。

対象スキル項目	関連する知識
コミュニケーション	-2Wayコミュニケーション 対話およびインタビューの実施、意思疎通、コミュニケーション手法の活用と実践、効果的な話し方聞き方の実践 -情報伝達 プレゼンテーション技術の活用と実践、公式または非公式文書の作成、文書表現および表現力の活用と実践、メディア選択、説得技法の活用と実践 -情報の整理・分析・検索 状況対応能力の育成と実践、状況理解力の活用と実践、ミーティング運営技術の活用と実践

## コンサルタントのネゴシエーション

(1コース)

- コンサルタントのネゴシエーション

研修コースの内容	コース名 <b>コンサルタントのネゴシエーション</b>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、プロジェクトにおけるあらゆる状況、場面におけるネゴシエーションに関する実践的なスキルの修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、中規模以上または複雑なプロジェクトを推進していく上で発生するあらゆる状況、場面における利害関係者とのネゴシエーションに関して、ネゴシエーションのプロセスを複数のフェーズに分け、想定される問題点を理解し、交渉相手との解決策を作成するプロセスについて、ロールプレイを取り入れてワークショップ形式で実践的に習得する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルティングチームのリーダーとして、複数のプロジェクトを遂行した経験を持つ者(コンサルタントのレベル4、5を目指す者)
受講前提	ネゴシエーションに関する基礎的な知識を有していること
研修方法	ワークショップ
期間	標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	ネゴシエーションに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、折衝が難しい交渉相手に対しても継続的な信頼関係を維持することで、合意形成を図ることができる。

対象スキル項目	関連する知識
ネゴシエーション	ーネゴシエーション 交渉プロセスの把握と実践、効果的な交渉技法の活用と実践、信頼関係の確立、目標の設定、共通利益、論理的思考の実践、問題解決手法の活用と実践、プロフェッショナルリティ、マインドセット、顧客志向、プロフェッショナル意識等、実際の業務を行う上で、保持している知識、能力を最大限に活用するような行動・思考様式

# インダストリアプリケーション動向

(1コース)

- インダストリアプリケーション動向

コース名 研修コースの内容	インダストリアプリケーション動向
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、日々変化していくインダストリアプリケーションに関する知識を最新に保つために、各インダストリにおける最新の動向や、現在注目を集めているインダストリ業務、ソリューションに関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、対象とする各インダストリ、または業務、ソリューションのテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持、向上を図るために定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する。</p> <p>○ 当コースは、eラーニングによる提供も可能であるが、講義形式によってインダストリ業務の実演などを行うことが望ましい。</p>
受講対象者	コンサルティングチームの責任者、コンサルティングチームのリーダーとして、現在関わりのある業界や、今後関係する業界に関する知識、またその業界で使用されるインダストリアプリケーションなどに関する知識を更新する必要がある者(コンサルタントのレベル4、5、または6を目指す者)
受講前提	インダストリアプリケーションについて基本的な知識を有していること
研修方法	講義、またはeラーニング
期間	標準日数 2日(クラスルーム)、または標準時間 12時間 (eラーニング 1日 6時間×2日)
研修修了後のスキル修得目標	インダストリアプリケーションに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
「経営におけるIT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－業界・業務のIT活用動向</li> <li>インダストリアプリケーション動向の把握、最新アプリケーションパッケージ動向の把握</li> </ul>
インダストリの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－各インダストリ固有なスペシャリティの知見</li> <li>インダストリ固有業務に関する知識の活用、インダストリビジネス動向、技術動向、競合状況の把握、インダストリ用語、関連法規の把握と活用、インダストリ別事業環境の把握と活用、インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用、インダストリ固有業務内容の把握と活用</li> </ul>
ビジネスファンクションの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－インダストリに共通した業務の知見</li> <li>会計、人事、設備管理</li> </ul>

## 最新ビジネス動向（1コース）

- 最新ビジネス動向

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	最新ビジネス動向
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、日々変化していくビジネスの最新動向に関する知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、主要な業界の経営課題やトピックス、国内外の最新ビジネス動向、ITビジネスに関わる技術動向等のテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持、向上を図るために定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する。</p>
受講対象者	コンサルティングチームの責任者、またはコンサルティングチームのリーダーとして、担当するプロジェクトに関わる顧客の経営環境やビジネス等を把握するために、ビジネス動向に関する知識を更新する必要がある者(コンサルタントのレベル4、5、または6を目指す者)
受講前提	「コンサルティング基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	講義、またはeラーニング
期間	標準日数 1日(クラスルーム)、または標準時間 6時間 (eラーニング 1日 6時間×1日)
研修修了後のスキル修得目標	最新ビジネス動向に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、顧客の経営課題やビジネスを明確に理解し、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
「経営における IT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>    国内外の最新ビジネス動向の把握、ITビジネスに関わる技術動向の把握、ビジネス特許に関わる技術動向の把握、次世代のeビジネスとその発展の把握</li> <li>－IT マネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務の IT 活用動向</li> <li>    業界の経営課題、情報戦略、企業会計、経営工学、エンジニアリングシステム分野とビジネスシステム分野における情報システムの活用動向の把握、関連法規の理解と遵</li> </ul>

## 最新技術動向（1コース）

- 最新技術動向

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	最新技術動向
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、日々変化していくITサービスを取りまく最新の技術動向を理解し、実際のビジネスで応用するための知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、国内外のIT技術動向や現状、プラットフォーム、システム管理基盤、データベース、ネットワーク、分散コンピューティングシステム、セキュリティに関わる要素技術動向、アプリケーションに関わる技術動向、ビジネス特許に関わる技術動向、次世代のeビジネスとその発展に関わる技術動向などを学習する。</p> <p>○ 当コースは、必要に応じた任意のテーマ毎に提供され、受講者は、自らのスキルの維持/向上を図るために定期的または必要に応じてテーマを選択し受講する。</p>
受講対象者	コンサルティングチームの責任者、またはコンサルティングチームのリーダーとして、諸技術に関する知識を更新する必要がある者(コンサルタントのレベル4、5、または6を目指す者)
受講前提	IT技術に関する基礎知識を持ち、ソリューション構築における実務経験、実績を有していること
研修方法	講義
期間	標準日数 1日 (クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	最新技術動向に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者、またはリーダーとして、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
「経営におけるIT」の知見からの課題発見(知見活用)	- 業界・業務のIT活用動向 インダストリアプリケーション動向の把握、最新アプリケーションパッケージ動向の把握 - 情報技術動向の調査 最新ハードウェア技術動向の把握、最新ミドルウェア技術動向の把握、最新プラットフォーム技術動向の把握、最新ネットワーク技術動向の把握、最新データベース技術動向の把握、最新セキュリティ技術動向の把握、最新システム管理技術動向の把握

## コミュニティ活動

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	コミュニティ活動
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input type="checkbox"/> 上級講座 <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>コミュニティ活動は、いわゆる研修とは異なり、社内組織上のラインにとらわれずに、プロフェッショナル同士が自らのスキルを切磋琢磨し、後進育成にも貢献していく社内、社外での諸活動をいう。コミュニティ活動には、社外のものとしては学会や各種団体(任意も含めて)があり、社内のものとしては社内プロフェッショナル認定制度などで認定を受けたなどの者からなる枠組みがある。これらコミュニティは、同一職種で構成されることが基本となる</p> <p>○ ハイレベルのスキルを持つ人材は、研修という枠組みで教えられるという段階を超え、コミュニティ活動を通し、他のハイレベルのプロフェッショナルとの情報交換やディスカッションを通じて研鑽を重ねる。</p> <p>○ 後進育成においても、ハイレベルのスキルに基づく論文発表や講演を通じた貢献を図る。また、特に社内のコミュニティ活動を通しては、人事、教育訓練制度の設計、構築、実行をリードし、現場のプロの立場でビジネス戦略と結びついた人材育成戦略の実現に貢献する。</p>
受講対象者	—
受講前提	—
研修方法	—
期間	—
研修修了後のスキル修得目標	—

コンサルタント  
研修コースの内容  
＜専門分野別選択＞

## コンサルティングメソドロジー中級(2コース)

( )内は対応する専門分野

- エンタープライズ・アーキテクチャ(ビジネスファンクション)
- IT ガバナンス・IT マネジメント(ビジネスファンクション)

<div style="text-align: right;">コース名</div> 研修コースの内容	<b>エンタープライズ・アーキテクチャ</b>
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input checked="" type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、ビジネスファンクション領域のコンサルティングを行うために必要な経営と IT の関係を統合的、総合的に把握するためにエンタープライズ・アーキテクチャ(EA)の概要を把握し、ビジネスモデルやプロセスモデル、情報モデル、データモデル、サービスモデル等をアーキテクチャとしてとらえるための知識を習得する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル5を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識、および「ビジネスモデル基礎」、「コンサルティングメソッド基礎」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 18時間 (eラーニング 1日 6時間×3日)、後半:標準日数 4日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	エンタープライズ・アーキテクチャに関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、効果的なコンサルティングプロジェクトを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
コンサルティングメソッドの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－コンサルティングメソッドの選択と活用</li> <li>コンサルティングメソッドの比較と分析、コンサルティングメソッドの選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用</li> </ul>
コンサルティングメソッドの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－分析ツールとモデルの理解と活用</li> <li>事業ライフサイクル(導入期,成長期,成熟期,衰退期)モデル、プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル、経験カーブ、3C 分析、SWOT分析、7S モデル、マイケル・ポーターの5Forcesモデル、バリューチェーン分析</li> </ul>
知的資産管理(Knowledge Management)活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－顧客・市場・業界に関する情報収集</li> <li>－関連する法規制・外部成約の情報収集</li> <li>－業界内での位置づけの把握</li> <li>－公開情報の収集</li> <li>－ベンチマーク調査</li> <li>－経営層と組織運営体制</li> <li>－経営指標に関する情報収集</li> <li>－経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－経営計画に関する意見交換</li> <li>－業務プロセスの調査</li> <li>－業務責任者との意見交換</li> <li>－事業環境上の課題の整理</li> <li>－経営計画関連情報の要約</li> <li>－課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－トップマネジメント視点での課題の抽出</li> <li>－ビジネスモデルの分析</li> <li>－ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>

対象スキル項目	関連する知識
解決の方向性の提言 (TO-BE 提言)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－課題の分析</li> <li>－影響範囲分析</li> <li>－優先順位の仮説設定</li> <li>－解決の方向性の導出</li> <li>－解決の方向性の検証</li> <li>－概算の投資対効果の見積もり</li> <li>－戦略展開計画の立案</li> </ul>
「経営における IT」の知見からの課題発見 (知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－IT マネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務の IT 活用動向</li> </ul>

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	IT ガバナンス・IT マネジメント
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input checked="" type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、IT ガバナンスの概要、経営におけるIT ガバナンスの役割、情報化の成熟度について評価方法を理解し、適用方法を習得する。情報化の成熟度に基づいた最適な情報資源の管理のための方法について学習する。</p>
受講対象者	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4、5を目指す者)
受講前提	ITの基礎知識、およびリーダーシップ、コミュニケーション、ネゴシエーションなど基本的なパーソナルスキルを有していること
研修方法	eラーニング、講義
期間	前半:標準時間 18時間 (eラーニング 1日 6時間×3日)、後半:標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	IT ガバナンスに関する知識を活用し、コンサルティングチームのリーダーとして、効果的なコンサルティングプロジェクトを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
コンサルティングメソドロジの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－コンサルティングメソドロジの選択と活用</li> <li>コンサルティングメソドロジの比較と分析、コンサルティングメソドロジの選定と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成、コンサルティング技術の適用</li> </ul>
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－経営層と組織運営体制</li> <li>－経営指標に関する情報収集</li> <li>－経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－経営計画に関する意見交換</li> <li>－業務プロセスの調査</li> <li>－業務責任者との意見交換</li> <li>－事業環境上の課題の整理</li> <li>－経営計画関連情報の要約</li> <li>－課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－トップマネジメント視点での課題の抽出</li> </ul>
「経営におけるIT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－ITマネジメント体制</li> <li>ITガバナンスの概要、組織戦略、人材戦略の立案を受けて、ITガバナンスを整備、実施するための手順の概要</li> <li>コーポレートガバナンス、ITガバナンスの必要性、ITガバナンスのポイント、ITガバナンスの評価、内部統制の仕組み</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務のIT活用動向</li> </ul>

## コンサルティングメソドロジー上級（4コース）

（ ）内は対応する専門分野

- アセットマネジメント(BF)
- インダストリ別スペシャリティ・金融(ID)
- インダストリ別スペシャリティ・産業(ID)
- インダストリ別スペシャリティ・公共(ID)

ID:インダストリ BF:ビジネスファンクション

<div style="text-align: right;">コース名</div> <div style="text-align: left;">研修コースの内容</div>	<b>アセットマネジメント</b>
<b>講座分類</b>	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
<b>対象専門分野</b>	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input checked="" type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input type="checkbox"/> インダストリ
<b>コース概要</b>	<p>当コースは、「コンサルティングメソッド中級」の上位コースとして、企業活動における共通したビジネスファンクションに関し、ヒト・モノ・カネのアセットマネジメントに関する業務プロセスの基本から応用までの知識を、情報システム化の観点から習得する。</p> <p>○特に汎用的な会計アプリケーションの構造等についても、具体的に概要を把握することが望ましい。</p>
<b>受講対象者</b>	他職種の実務経験、実績を持ち、コンサルタントを目指している者(コンサルタントのレベル4を目指す者)
<b>受講前提</b>	ビジネスモデル基礎、インダストリ業務基礎、コンサルティングメソッド中級の研修を受講していることが望ましい。
<b>研修方法</b>	eラーニング、講義、ワークショップ
<b>期間</b>	前半:標準時間 18時間 (eラーニング 1日 6時間×3日)、後半:標準日数 5日(クラスルーム)
<b>研修修了後のスキル修得目標</b>	アセットマネジメントに関する基礎的な知識を活用し、顧客のビジネスの構造を理解し、コンサルティングチームのリーダーとして、効果的なコンサルティングプロジェクトを実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 知的資産(事例、分析・提言テンプレート)の管理と活用</li> <li>知的資産(事例、分析・提言テンプレート)のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 経営層と組織運営体制</li> <li>－ 経営指標に関する情報収集</li> <li>－ 経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－ 経営計画に関する意見交換</li> <li>－ 業務プロセスの調査</li> <li>－ 業務責任者との意見交換</li> <li>－ 事業環境上の課題の整理</li> <li>－ 経営計画関連情報の要約</li> <li>－ 課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－ トップマネジメント視点での課題の抽出</li> <li>－ ビジネスモデルの分析</li> <li>－ ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>
解決の方向性の提言(TO-BE 提言)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 課題の分析</li> <li>－ 影響範囲分析</li> <li>－ 優先順位の仮説設定</li> <li>－ 解決の方向性の導出</li> <li>－ 解決の方向性の検証</li> <li>－ 概算の投資対効果の見積もり</li> <li>－ 戦略展開計画の立案</li> </ul>
「経営における IT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 最新ソリューション動向</li> <li>－ IT マネジメント体制</li> <li>－ 業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－ 情報技術動向の調査</li> <li>－ 業界・業務の IT 活用動向</li> </ul>

対象スキル項目	関連する知識
インダストリの知見の活用	－各インダストリ固有なスペシャリティの知見 産業、金融、公共、サービス、業務、制度、全体構想、顧客マネジメント、サプライチェーンマネジメント
ビジネスファンクションの知見の活用	－インダストリに共通した業務の知見 会計、人事、設備管理

コース名 研修コースの内容	インダストリ別スペシャリティ・金融
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input checked="" type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、コンサルティングメソッド基本の上位コースとして、特に金融業固有のビジネスファンクションに着目して、その特有な業務の概要を理解し、共通のビジネスファンクションの応用として、インダストリに関するビジネスデザインを実施する上で必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、金融業のビジネス構造、専門用語や業務についての全体感をつかむことを重視し、IT を利用した金要商品に関連した情報システムの特徴についても学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:ID)のレベル5を目指す者)
受講前提	「コンサルティングメソッド基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 18時間 (eラーニング 1日 6時間×3日)、後半:標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	金融業のビジネスに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－知的資産の管理と活用</li> <li>知的資産のデータベース化(付加価値 構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－経営層と組織運営体制</li> <li>－経営指標に関する情報収集</li> <li>－経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－経営計画に関する意見交換</li> <li>－業務プロセスの調査</li> <li>－業務責任者との意見交換</li> <li>－事業環境上の課題の整理</li> <li>－経営計画関連情報の要約</li> <li>－課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－トップマネジメント視点での課題の抽出</li> <li>－ビジネスモデルの分析</li> <li>－ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>
解決の方向性の提言(TO-BE 提言)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－課題の分析</li> <li>－影響範囲分析</li> <li>－優先順位の仮説設定</li> <li>－解決の方向性の導出</li> <li>－解決の方向性の検証</li> <li>－概算の投資対効果の見積もり</li> <li>－戦略展開計画の立案</li> </ul>
「経営における IT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－IT マネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務の IT 活用動向</li> </ul>

対象スキル項目	関連する知識
インダストリの知見の活用	—各インダストリ固有なスペシャリティの知見 産業、金融、公共、サービス、業務、制度、全体構想、顧客マネジメント、サプライチェーンマネジメント
ビジネスファンクションの知見の活用	—インダストリに共通した業務の知見 会計、人事、設備管理

コース名 研修コースの内容	インダストリ別スペシャリティ・産業
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input checked="" type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、コンサルティングメソッド基本の上位コースとして、特に製造業、流通業等の固有のビジネスファンクションに着目して、その特有な業務の概要を理解し、共通のビジネスファンクションの応用として、インダストリに関するビジネスデザインを実施する上で必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、製造業、流通業等のビジネス構造、専門用語や業務についての全体感をつかむことを重視し、サプライチェーンマネジメントや生産システム等の情報システムの特徴についても学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:ID)のレベル5を目指す者)
受講前提	「コンサルティングメソッド基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 18時間 (eラーニング 1日 6時間×3日)、後半:標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後の スキル修得目標	製造業、流通業等のビジネスに関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 知的資産の管理と活用</li> <li>知的資産のデータベース化(付加価値、構造化、共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 経営層と組織運営体制</li> <li>－ 経営指標に関する情報収集</li> <li>－ 経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－ 経営計画に関する意見交換</li> <li>－ 業務プロセスの調査</li> <li>－ 業務責任者との意見交換</li> <li>－ 事業環境上の課題の整理</li> <li>－ 経営計画関連情報の要約</li> <li>－ 課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－ トップマネジメント視点での課題の抽出</li> <li>－ ビジネスモデルの分析</li> <li>－ ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>
解決の方向性の提言(TO-BE 提言)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 課題の分析</li> <li>－ 影響範囲分析</li> <li>－ 優先順位の仮説設定</li> <li>－ 解決の方向性の導出</li> <li>－ 解決の方向性の検証</li> <li>－ 概算の投資対効果の見積もり</li> <li>－ 戦略展開計画の立案</li> </ul>
「経営における IT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 最新ソリューション動向</li> <li>－ IT マネジメント体制</li> <li>－ 業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－ 情報技術動向の調査</li> <li>－ 業界・業務の IT 活用動向</li> </ul>

対象スキル項目	関連する知識
インダストリの知見の活用	－各インダストリ固有なスペシャリティの知見 産業、金融、公共、サービス、業務、制度、全体構想、顧客マネジメント、サプライチェーンマネジメント
ビジネスファンクションの知見の活用	－インダストリに共通した業務の知見 会計、人事、設備管理

コース名 研修コースの内容	インダストリ別スペシャリティ・公共
講座分類	<input type="checkbox"/> 入門講座 <input type="checkbox"/> 基礎講座 <input checked="" type="checkbox"/> 上級講座 <input type="checkbox"/> 特別講座
対象専門分野	<input type="checkbox"/> コンサルタント共通 <input type="checkbox"/> ビジネスファンクション <input checked="" type="checkbox"/> インダストリ
コース概要	<p>当コースは、コンサルティングメソッド基本の上位コースとして、特に行政等の公共部門固有のビジネスファンクションに着目して、その固有の業務の特徴を理解し、共通のビジネスファンクションの応用として、インダストリに関するビジネスデザインを実施する上で必要となる知識の修得を目的とする。</p> <p>○ 当コースでは、公共部門として政府の業務及び関連法令等、ビジネス構造、専門用語についての全体感をつかむことを重視し、主要な行政システム等の情報システムの特徴についても学習する。</p>
受講対象者	複数のコンサルティングプロジェクトに参画し、プロジェクトを実施した経験と実績を有する者(コンサルタント(専門分野:ID)のレベル5を目指す者)
受講前提	「コンサルティングメソッドの基本」を修了していること、または同等の知識を有していること
研修方法	eラーニング、講義、ワークショップ
期間	前半:標準時間 18時間 (eラーニング 1日 6時間×3日)、後半:標準日数 3日(クラスルーム)
研修修了後のスキル修得目標	公共部門の業務に関する知識を活用し、コンサルティングチームの責任者として、効果的な提案を実施することができる。

対象スキル項目	関連する知識
知的資産管理(Knowledge Management)と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 知的資産の管理と活用</li> <li>知的資産のデータベース化(付加価値構造化,共有化)、知的資産の活用、知的資産の維持と管理、効果の把握と改善の実施、ビジネスモデル特許</li> </ul>
ビジネス上の課題の特定と分析(AS-IS 分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 関連する法規制・外部成約の情報収集</li> <li>－ 公開情報の収集</li> <li>－ 経営層と組織運営体制</li> <li>－ 経営指標に関する情報収集</li> <li>－ 経営計画・ビジョン・ミッションステートメント情報の収集</li> <li>－ 経営計画に関する意見交換</li> <li>－ 業務プロセスの調査</li> <li>－ 業務責任者との意見交換</li> <li>－ 事業環境上の課題の整理</li> <li>－ 経営計画関連情報の要約</li> <li>－ 課題の構造化と関連付け及び範囲設定</li> <li>－ トップマネジメント視点での課題の抽出</li> <li>－ ビジネスモデルの分析</li> <li>－ ビジネスモデルのリスクコントロールの評価</li> </ul>
解決の方向性の提言(TO-BE 提言)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 課題の分析</li> <li>－ 影響範囲分析</li> <li>－ 優先順位の仮説設定</li> <li>－ 解決の方向性の導出</li> <li>－ 解決の方向性の検証</li> <li>－ 概算の投資対効果の見積もり</li> <li>－ 戦略展開計画の立案</li> </ul>

対象スキル項目	関連する知識
「経営におけるIT」の知見からの課題発見(知見活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>－最新ソリューション動向</li> <li>－IT マネジメント体制</li> <li>－業務プロセスを支援する情報システムの調査</li> <li>－情報技術動向の調査</li> <li>－業界・業務のIT 活用動向</li> </ul>
インダストリの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－各インダストリ固有なスペシャリティの知見 産業、金融、公共、サービス、業務、制度、全体構想、顧客マネジメント、サプライチェーンマネジメント</li> </ul>
ビジネスファンクションの知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>－インダストリに共通した業務の知見 会計、人事、設備管理</li> </ul>